

西区自治協議会第2部会 会議概要

平成27年度 第6回会議		
開催日時	平成27年10月7日（水）午後3時00分～午後5時30分	
会 場	西区役所健康センター棟1階105会議室	
出席者	委 員	郷部会長、大谷一男副部会長、 高島委員、村井委員、渡辺美弥子委員、宗村委員、 丹羽委員、廣澤委員、鍋谷委員、高木委員、木村委員 【スポット参加】岩脇委員、坂井委員 <div style="text-align: right;">計13名</div> [欠席：城丸委員]
	事 務 局	西区地域課長 西区健康福祉課長 坂井輪地区公民館長 西区総務課長補佐 西区教育支援センター所長 坂井輪図書館長 西区地域課 2名
	説 明 者	教育総務課企画室 橋谷田副参事、奥村係長
主な議事	<p>1 平成28年度特色ある区づくり事業について</p> <p>○9月本会で配布した「特色ある区づくり事業関係資料（資料2及び資料3）」に基づき、事務局から説明がありました。</p> <p>○区役所企画事業の事務局案について、事業ごとに質疑応答と意見聴取を行い、審議の結果、部会として異議ない旨、意見集約を行いました。</p> <p>▷委員から出されたその他意見等は下記のとおり。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><資料2 委員アイデアに対する担当課の考え方について></p> <p>《アイデア》</p> <p>○整理番号6【地域包括ケアシステム構築のための必要在宅ケア実態調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護・要支援者数の小学校区単位での公表について、地域で見守りを進めていく際には名簿等の活用が必要となる。公表のあり方についてよく検討して欲しい。 ・要介護・要支援者数に応じて必要な施設整備やサービス提供も考えていく必要があり、将来的には自治会単位での集計が必要ではないか。 <p><資料3 平成28年度特色ある区づくり事業事務局案について></p> <p>○整理番号1【西区子育てサポート事業】</p> </div>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・「新・すこやか未来アクションプラン」をみても多くの家庭が子育てに不安を有しており、不安解消に向けて大いに実施していただきたい。 ○整理番号2【西区DE健康応援事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりにおける各種講座について、実技指導の充実と専門性を高めたメニューも検討してはどうか。 ・区づくり事業に関わらず、公民館事業などは、コミュニティハウスやセンターなどでのサテライト的な実施も検討して欲しい。 ○整理番号3【あんしん・ふれあい・ささえあい事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・孤立ゼロ作戦訪問事業について、可能な限り、実情のわかる民生委員と帯同して調査を実施するのが良いのではないか。 ○整理番号8【西区こども1日区長事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・区役所の業務を知ってもらうことに主眼をおけば、「区役所探検隊」といった視点やネーミングも検討してはどうか。 ○整理番号15【西区地域デザイン講座（ジュニア版）】 <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村との連携・交流を通じて西区の未来をデザインするといった視点もあるのではないか。 ・西区は都市と農村が融合するまちであり、まずは次代を担う子ども達において、区内の都市部と農村部の交流を図る現在の方式も意義深いのではないか。
	<p>2 学校統廃合に係る適正配置基本方針と現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育総務課より、「新潟市立小中学校の適正配置基本方針」、「西区の小中学校の適正配置の状況」、「豊照小学校・湊小学校・栄小学校・入舟小学校の4小学校統合に係る経緯について」資料に基づき説明がありました。 ○少子化により将来的には各地域で生じ得る問題であるとの認識を共有し、現状について見識と理解を深めました。 ▷委員から出された主な質問等は下記のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ○統廃合のほかに、方策として校区の再編は考えられるのか。 <ul style="list-style-type: none"> →現状の区域を増減することなので現実的に難しいものではあるが、1つの方策としてその都度検討は行う。 ○学校の立地自体について再検討は行えるものか。農村部では市街化調整区域の土地に余裕があり、これを活用できないか。 <ul style="list-style-type: none"> →今後の財政負担を考えると新たに学校を整備することは困難である。現在は、校舎や施設もできるだけ長寿命化を図っていく方向で取り組んでいる。また、市街化調整区域での学校建設は、都市計画法改正により条件が厳しくなっている。 <p>なお、市街化調整区域の農村集落などの維持・活性化を図るため、住宅の開発や建築の要件を緩和する市条例が制定されている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 赤塚地区ではみずき野地域の人口が増え統廃合検討の必要が生じている。検討の場づくりの働きかけを行政からも支援して欲しい。 ○ 少人数学級パイロット事業について、県の支援が無くなった際は継続されるのか。 <p>→ 県から市へ教職員の給与権・負担が権限移譲される。その際の検討事項となるが、市としてもなるべく継続されるよう努めていく。</p>
	<p>3 第2回教育ミーティングのテーマ決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 9月までに実施された第1回目となる各区の教育ミーティングの状況について、資料に基づき事務局から説明がありました。 ○ 第1回実施を受けて、11月に開催する第2回については、部会を主体に開催することから、第1回のテーマと継続性を持ち、「パートナーシップ事業」や「ふれあいスクール」について、より具体的な議論を深められるよう企画することとしました。 ○ 具体的なテーマ名については、部会長と副部会長で相談の上、決定することとしました。 ○ 次回会議において、事務局にて区内各校の地域教育コーディネーターの取組みの状況を把握するため、パートナーシップ事業等の一覧を作成し、資料とすることとしました。 <p>▷ 委員から出された主な意見等は下記のとおり。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域側からすると、学校は何をどこまでできるのか、地域に何をしたいのかを知る必要があるのではないか。 </div>
	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自治協提案事業「スポーツ鬼ごっこ講習会」について、資料のとおり、期日と会場を決定し企画書案を作成することといたしました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日：平成28年3月5日（土）13時より ・ 会 場：黒崎南小学校 体育館 ○ 次回会議において、自治協提案事業の検討の基礎資料とするため、9月に行った「高齢化をテーマにした講演会」のアンケート集計を事務局にてまとめることとしました。
	<p>5 次回（第7回）の開催日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 協議の結果、次回を次のとおり決定しました。 <ul style="list-style-type: none"> 日 時：平成27年11月6日（金）午後3時00分～ 場 所：西区役所3階303会議室 議 題：H28年度自治協提案事業について ほか